

## 平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

障害者支援課

### 1 施設の概要等

施設名	広島県立視覚障害者情報センター		
所在地	広島市東区戸坂千足2丁目1-5		
設置目的	無料又は低額な料金で、点字刊行物及び視覚障害者用の録音物を視覚障害者の利用に供する。		
施設・設備	閲覧室、録音室、点字作業室、発送室、対面朗読室、書庫、会議室、相談室、事務室		
指定管理者	4期目	H28.4.1～H33.3.31	(社福) 広島県視覚障害者団体連合会
	3期目	H23.4.1～H28.3.31	(社福) 広島県視覚障害者団体連合会
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	(社福) 広島県視覚障害者団体連合会
	1期目	H17.4.1～H20.3.31	(社福) 広島県視覚障害者団体連合会

### 2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	貸出図書数 (タイトル数、雑誌除く。)	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
		4期	29～32	—	—	—
28			—	20,087件	334件	—
3期		27	—	19,753件	△4件	—
		3期平均 23～27	—	20,409件	1,983件	—
2期平均 20～22		—	18,426件	4,712件	—	
1期平均 17～19		—	13,714件	1,308件	—	
16 (導入前)		—	12,406件	—	—	
増減理由	視覚障害者情報ネットワーク「サピエ」による図書データのダウンロード利用等の増					

### 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	副音声付映画体験会 (年6回)	83名
	交流会、サピエ体験会 (初心者対象)	交流会 36名, サピエ体験会 6名
	【主な意見】	【その対応状況】
	当事者同士の情報交換及び交流の場としての行事開催を希望	副音声付映画体験会、交流会等の行事を実施予定
	福祉サービスや視覚障害者関連情報の収集、提供	関連機関・団体との連携を高め、実務担当者会議を定期的に行い、情報発信を行った。
視覚障害者向け支援機器についての情報提供を希望	センター広報紙、ホームページにおいて最新の情報発信を継続。支援機器体験会を開催予定	

### 4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書、収支決算書
	月報	○	業務実績報告書
	日報 (必要随時)	○	施設・設備の不具合等の報告
管理運営会議 (毎月開催)	<b>【特記事項等】</b> ・会議を月報提出時 (12回) に開催 ・現地調査は随時実施 <b>【指定管理者の意見】</b> 業務仕様書に基づき管理運営を行った。		
現地調査 (随時実施)	<b>【県の対応】</b> 適切に管理運営が実施されていることを確認した。		

## 5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	4期	29～32	—		—	料金収入 (決算額)	該当なし	
28			31,833	2,066					
3期		27	29,767	125					
3期平均 23～27		29,394	51						
2期平均 20～22		29,343	△15						
1期平均 17～19		29,358	△1,533						
16 (導入前)		30,891	—						

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	31,833	29,767	2,066	職員給与費及び事務所経費の増加
		料金収入	0	0	0	
		その他収入	0	0	0	
		計(A)	31,833	29,767	2,066	
	支出	人件費	23,442	20,690	2,752	職員給与費の増
		光熱水費	1,836	1,895	△59	
		設備等保守点検費	995	933	62	
		清掃・警備費等	973	1,047	△74	
		施設維持修繕費	256	181	75	
		事務局費	4,331	5,021	△690	事務機器購入費等の減
		その他	0	0	0	
	計(B)	31,833	29,767	2,066		
	収支①(A-B)		0	0	0	
	自主事業 (※)	収入(C)	—	—	—	
支出(D)		—	—	—		
収支②(C-D)		—	—	—		
合計収支(①+②)		0	0	0		

※ 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	<p>○施設の設置目的に沿った業務実績</p> <p>利用者への情報サービスの充実として、図書等の製作（点字・録音図書、雑誌）、迅速な図書等の貸出、個別の点字・録音サービス等相談事業を実施した。 また、図書データのダウンロードや全国の図書の貸出等を利用できるサピエ図書館を中核とした、メディアに捉われないサービス提供を更に推進し、迅速な情報提供を行った。</p>	<p>図書の製作、貸出業務のほか、視覚障害者情報ネットワーク「サピエ」を有効に活用し、利用の促進や迅速な情報提供を積極的に行うなど、利用者のニーズに応えた事業を展開している。</p>
	<p>○業務の実施による、県民サービスの向上</p> <p>質の高い蔵書を製作するため、点訳・音訳ボランティア研修会を実施し、ボランティアの技術向上に取り組んだ。 また、地域のボランティアグループが開催する講座、研修会、行事等に対し、職員や指導者を派遣するなどサポートを行った。</p>	<p>図書の製作に携わっているボランティアのスキルを向上させることで、県民サービスの向上につながるよう努めている。</p>
	<p>○業務の実施による、施設の利用促進</p> <p>情報センターの利用促進のため、来所を促すイベントを実施するとともに、地域の社会福祉協議会や関係機関の主催するイベントに「一日移動情報センター」として簡易相談会などを実施し、施設の利用促進に努めた。 視覚障害者用情報支援機器の技術開発は目覚ましく、利用者には最新の機器情報を積極的に提供していく必要があるため、各地域で機器展示相談会を開催し、メーカーから借り受けた機器などを使って、参加者への紹介、試用等を行った。 全国視覚障害者情報提供施設、県内公立図書館や、特別支援学校等、関係機関・団体等と連携したサービスを実施し、協力関係の強化を図った。 広島版スマートサイト「もみじサイト」のネットワーク形成準備に参画し、相談窓口実務担当者会議を実施することで、関係機関・団体との連携を深めた。 また、コーディネーター窓口として、相談者のニーズに合った、適切な情報提供を行った。</p>	<p>イベントの実施や参加など、様々な場面で情報センターに関する広報を行い、施設利用の促進に努めるとともに、進歩著しい視覚障害者用情報支援機器について、相談会の実施等で利用者への情報提供やフォローもしている。 また、全国視覚障害者情報提供施設や県内関係機関・団体と連携したサービス提供や、「もみじサイト」といった新たな取組にも積極的に参画するなど、協力関係の強化と施設利用の促進に努めている。</p>
	<p>○施設の維持管理</p> <p>建物・設備の管理については、業務委託による実施のほか、職員による日常巡視点検を実施し、設備の不備や異常の早期発見に取り組んだ。</p>	<p>限りのある予算の中で、効率的かつ積極的に修繕を行っている。</p>

<p>管理の人的物的基礎</p>	<p>○組織体制の見直し</p> <p>○効率的な業務運営</p> <p>○収支の適正</p>	<p>平成 28 年度において非常勤職員 1 名の常勤化が実現し、施設長を除く 5 名の正規職員化が実現した。</p> <p>引き続き、施設長の正規職員化が必要と考えており、更なる運営体制の効率化と適切な施設運営に努めていく。</p> <p>法人の役員、評議員や多くのボランティア等の支援のもとに、利用者のサービスの向上と効率的な業務運営に努めている。</p> <p>法人の評議員会、理事会における審議や、監事による監査指導を受けるとともに、会計事務所との連携をとり、収支の適正化に努めている。</p>	<p>製作業務の増大、充実したサービス提供に対応するため、平成 28 年度から臨時職員に代え、正規職員が配置されたところであり、今後とも運営体制の効率化と適切な施設運営の検討が必要である。</p> <p>現行の組織体制の中で、ボランティアの協力を得るなど、施設の効率的な運営に努めており、業務仕様書に基づく適正な運営がなされている。</p> <p>事業収支については、概ね計画どおりであり、適切な運営がなされている。</p>
<p>総括</p>	<p>利用者の意見等を反映した図書の提供を行い、本センター製作雑誌の充実を図るとともに、点訳・朗読奉仕員の育成指導のもとに、サービスの向上に努め、地域のボランティアのサポートを実施した。</p> <p>また、事業収支の計画的な推進を図り、適切な施設運営に努めた。</p>	<p>従来からのボランティアの育成指導に加え、拡大図書やテキストデイジーの製作ボランティア育成にも積極的に取り組むなど、視覚障害者福祉に尽力している。</p> <p>また、事業収支は概ね計画どおりであり、適切な施設運営がなされている。</p>	

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (平成 29 年度)</p>	<p>○平成 28 年度にトイレの修繕が完了したが、施設、設備の老朽化に伴い、計画的な修繕が必要となっている。</p> <p>○特に、施設の北側の天井の腐食防止材が劣化して剥がれたため、早急に修繕が必要である。</p>	<p>○施設、設備の経年劣化が進んでおり、計画的に修繕を行う必要がある。</p> <p>○施設の適切な保全管理のため、緊急修繕が必要な場合には、早急に対応する。</p>
<p>中期的な対応</p>	<p>専門的な技術のある人材を育成するため、非正規職員 1 名の正規化が図られたが、施設長の常勤化が必要である。</p>	<p>○専門的な技術のある経験豊富な人材を育成していく必要がある。</p> <p>○職員の業務量に応じた適切な人員の配置を検討する。</p>